



中央公民館だより 1月号

発行：鹿児島市中央公民館 発行日：令和8年1月1日

〒892-0816 鹿児島市山下町5-9

TEL：224-4528 FAX：224-4529

鹿児島市ホームページ (<http://www.city.kagoshima.lg.jp>)

地域公民館の公民館だより



まどいに和み 学びを生かす 伝統と文化の中央公民館
～「安心」・「安全」・「笑顔」でキラリ輝く98年の歴史と伝統～

新年あけましておめでとうございます

館長 下 江 嘉 誉

令和8年がスタートしました。

中央公民館は、昭和2年（1927年）10月の開館から99回目の正月を迎えました。「鹿児島市公会堂」から「鹿児島市中央公民館」と名称の変更などはありませんでしたが、いつの時代においても市民の皆様方のつながりの拠点として、また、社会教育・生涯学習の拠点としての役割を果たしてきました。

先日、県外からの観光客が、中央公民館を見ながら「こんな歴史のある素敵な館で活動できる鹿児島市民がうらやましい。」というお話をされていました。中央公民館の素晴らしさを再認識するとともに、これまで以上に皆様方に親しんでいただける公民館にしたいと考えております。

令和7年は、46講座に定員の約2倍の皆様に応募していただきました。また、自主・利用学習グループ27団体の皆様にも学習の場としてご活用いただいております。今後も皆様のご希望に添えるような講座の開設を進めるとともに、一般団体等を含めて学習会や研修会等において積極的に活用していただけるような館運営に努めてまいります。

1月24日、25日の両日、第49回中央地域総合文化祭を開催します。今回は23団体の展示発表と24団体の舞台発表を行います。100周年に向けて全世代が参加する文化祭となるよう多くの皆様方のご来場をお待ちしております。

第2回中央公民館運営審議会

12月3日（水）に第2回中央公民館運営審議会を開催しました。

この会は、公民館が皆様にとってより安心・安全・笑顔で活動できる施設になることを目指し、毎年2回開いている会議です。今年度の利用状況と主催事業の実績や公民館講座の応募状況、及び来年度の公民館経営計画と公民館講座の準備状況等について説明を行い、出席した委員から活発に質問や意見が出されました。

話題となった主な内容は、100周年まで残り2年を切る中で、総合文化祭や家庭教育研修会などの主催事業については、内容をさらに充実・発展させ、全世代が興味をもち参加したいと思われるようにすること、来年度の公民館講座開設に向けて、見直しの視点や参加者を集めるための工夫をするのはもとより、落選者をできるだけ少なくするための工夫をしていくことなど、よりよい運営につながる話合いとなりました。

会議で出された貴重な意見を生かし、今後一層魅力的で地域の皆様にも愛される中央公民館となるよう努力してまいります。



はばたけ、薩摩っ子⑦ ⑧

妙円寺遠行

山下小学校

10月24日、6年生が、学校から日置市伊集院町の徳重神社までの約20kmを歩く「妙円寺遠行」を行いました。最後まで諦めずに歩き通した経験は、子供たちにとって大きな自信になりました。また、友達と励まし合いながらゴールを目指したことで、学級の友達との絆を更に深めることができました。



名山探検隊～ふるさとおし愛着を培う～ 名山小学校

「木曾川治水工事に薩摩藩から動員された人々は何人だったでしょう。」6年生が下級生にクイズを出しています。

名山小学校で毎年行われる「名山探検隊」は、6年生が校区内の史跡や、それにまつわる人物等について調べて分かったことを、現地で説明したり三択クイズにして出題したりする活動です。下級生も説明をよく聞いて、クイズに正解すると歓声が上がっていました。



校区のことを子供たちが知り、ふるさとへの愛着を培うことができる、校区コミュニティ協議会スローガン「歴史を継ぎ つながりを守り育てる名山」を実感する行事です。

自主・利用学習グループ紹介⑥ ⑦

「名山俳句会」

結成して約13年、丸山眞先生のご指導のもと、毎月第3水曜日に句会を開いています。一人2句ずつ投句し、そこから7句を選句して、ドキドキしながら披講を待ちます。あるときは推敲不足を反省し、あるときは称賛の拍手を浴び、語彙が増える喜びを感じながら、皆秀句を目指して頑張っています。俳句は、言葉を磨き、心を磨き、人生をより豊かにしてくれます。あなたも始めてみませんか。

句友の俳句を4句紹介します。

- | | | | |
|---------------|--------|-----------------|--------|
| ・ 北岳の白輝けり寒の月 | 葛西（2月） | ・ 母の日や空家に置きし俳句帖 | 山下（5月） |
| ・ 新雪の駅は潮の香風光る | 栗屋（4月） | ・ 炎天に降伏のごとシート干す | 下栗（8月） |

「すこやか体操」

「すこやか体操クラブ」は、2021年10月に中央公民館の健康体操講座修了生を中心に結成されたグループで、益盛先生の指導のもとポール、ボール、ヨガマット等を使用したストレッチ体操、リズム体操、脳トレを中心に運動による健康づくりに取り組んでいます。

会員総数21人、年代は60代から80代と幅広く、第1・第3火曜日の午後1時30分から市民ルームで活動しています。



モットーは、「明るく元気に笑顔を絶やさず」で、皆年齢より若く、元気いっぱいのグループです。皆さんも一度のぞいてみてはいかがでしょうか。

地階ギャラリー作品展より

11月10日（月）から11月24日（月）まで、「あざみ会」（ちぎり絵）の皆様のすばらしい作品が展示されました。寄せられた感想の一部を紹介します。また、1月24日と25日の2日間は、中央地域総合文化祭で23団体の作品を地階で見られます。お誘いあわせの上ぜひご覧ください。

- 季節を意識された題材のものも多く、それぞれの作品がどのような過程を経て創り出されたのか、想像しながら見入っていました。
- 素敵な作品に見とれてしまいました。皆様の努力の賜物だと思います。今後もいろいろな作品を見学し、心豊かになりたいです。
- すべての作品が入念であり、上品（上手）です。写真を見ているようで頭が下がります。
- すばらしい作品にただただ感動でした。

